

Broaden your horizons 93 ~さあ、視野を広げて!~

謹賀新年
2014



あけましておめでとうございます。メディセレのしゃっちょう、
児島恵美子です。

今年は午年です。友人の獣医さんに「馬のお薬は?」と尋ね
ましたら、「ドーピング」という答えが返ってきました。

馬の世界では、競走馬が主流です。オリンピックなどでよく耳にするドーピング検査はスポーツファーマシストに必要な不可欠な知識ですが、その発祥は1910年頃に英と仏で行われた公正な競馬を保つ方法でした。2006年10月1日、フランス凱旋門賞で3着のディーブインパクトが、レース後のドーピング検査で失格になりました。日本では禁止薬物ではなかった気管支拡張剤「イプラトロピウム」が、仏では気管支拡張作用が呼吸を楽にして走りやすくするという理由から禁止薬物に指定されていたのです。これを受け、日本でも禁止薬物が増やされ、現在、64品目86薬物が競馬法第31条と競馬施行規程第132条で規制されています。コカインやモルヒネ、風邪薬の成分、元気になるカフェインや興奮剤などです。そして、これらを使ったことを隠すために投与する利尿剤などです。もちろん、にんじんはセーフですよ(笑)。

ヒトでは1968年のグルノーブル冬季五輪から公式にドーピング検査が始まりました。そうです、ドーピングはお馬さんの方が約60年も先に行われていたのです。莫大なお金が動く競馬界では、馬がインフルエンザなどでレースが開催できなくなると損失が大きいのので、必ずワクチンを打ち、病気の予防に努めているそうです。罹ってしまうと特効薬がなく、対処療法で回復させるしか手がないからです。

ですから、JRA(日本中央競馬会)は獣医さんにとって憧れの就職先です。お給料もよく、1年目で1,000万円の大台を超えちゃうそうです。億単位の馬を診るわけですから、責任も重いのでしょうね。未来時給でも、今後時給が上がる職業の第2位が獣医です。第1位は何と薬剤師です。確かに、獣医さんの2位は正しいかもしれませんが、薬剤師の1位はどうでしょうか。ネット販売解禁を機に薬剤師不要論がちらほら聞こえるようになってきました。メディセレでは今年度の漢字を「変」としました。薬剤師の世界も社会の「変化」に敏感に反応し、恐れることなく「変化」していきましょう! 今年もよろしくお願いたします。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子